

2024年5月15日

各位

会社名 MRKホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 塩田 徹
(コード 9980 東証スタンダード)
問合せ先 専務執行役員経営企画部長 中 研 悟
(TEL 06-7655-5000)

業績予想と実績値の差異及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期通期業績予想について、本日公表の実績値との間に差異が生じたこと、及び繰延税金資産の取崩しについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期連結業績予想数値との差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,200	880	880	530	5.23
当期連結実績 (B)	19,584	552	617	225	2.22
増減額 (B-A)	△615	△327	△262	△304	—
増減率 (%)	△3.0	△37.2	△29.9	△57.5	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	19,541	803	854	514	5.08

2. 差異の理由

主力事業である婦人下着及びその関連事業において、2023年3月期の商品価格の値上げ前の駆け込み需要に対する反動減による影響、及び新型コロナウイルスの5類移行による行動制限の緩和により、旅行やレジャー等へ消費が多様化した影響から、既存顧客の購入単価の落ち込みが想定以上に長引いたこと、さらに、2024年1月1日に発生した能登半島地震で補整下着の主力縫製工場のひとつが被災し、2024年1月に発売した補整下着の主力シリーズ「リベルディーニュ」(11年ぶりの新作)の生産遅れが発生し、欠品となったことから売上が予想を下回りました。

利益面におきましては、新規顧客獲得に向けたプロモーションの強化、お客様の購入を促進すべく購入特典の拡充や分割手数料の優遇など、販売促進費等が増加した結果、予想を下回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の業績動向に加え、株主優待費用の損金不算入額の拡大に伴う繰延税金資産の見直し等により法人税等調整額が増加し、予想を下回りました。

補整下着の生産遅延につきましては、縫製工場各社様をはじめとする関係先のご協力をいただき、本年3月下旬には欠品状態を解消いたしました。これにより、新規顧客が好調に増加するなど拡大する顧客基盤を背景に、本年3月単月の売上高は、直近10年で最高を記録するまでに急回復しております。今後も、中長期的な成長に向けた顧客基盤の拡大を推進するとともに、生産、営業などの体制強化に取り組んでまいります。

3. 繰延税金資産の取崩しについて

株主優待費用の損金不算入額の拡大に伴い、繰延税金資産30百万円を取崩しました。

以上